

平成 25 年度第 2 回河南町入札監視委員会 議事概要

開催日時	平成 26 年 2 月 26 日（水）13 時 30 分から 15 時 10 分
開催場所	河南町役場庁舎 2 階庁議室
出席者	委員 3 名 副町長、総合政策部長、総務部長、教・育部理事、秘書企画課長、総務課長、契約検査室長、総務課主事、教・育課主事、契約検査室職員 2 名
議事概要	<p>平成 25 年度第 2 回河南町入札監視委員会の概要は、次のとおりです。</p> <p>1. 指名停止措置の運用状況について</p> <p>平成 25 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 件の指名停止措置について事務局から報告がありました。</p> <p>(1) 主な質問及び意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような業者か (回答) 他の自治体で受注実績のある業者です。 ・契約辞退の指名停止で、その後他の応札者と 9 号随契で契約されているが、開札時には辞退者とはどの程度の金額差があったのか。 (回答) 約 11 万円です。 ・契約辞退による違約金はいくらか。 (回答) 落札金額の 3% で、36,225 円です。 ・ <p>2. 談合情報等の処理状況について</p> <p>平成 25 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの間に談合情報はありませんでした。</p> <p>3. 入札・契約状況及び抽出事案について</p> <p>平成 25 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの 5 ヶ月間に本町が契約締結した 130 万円を超える工事、50 万円を超える委託及び 80 万円を超える物品購入の入札・契約状況の報告があり、対象契約案件 62 件の中から任意抽出された次の 3 件の概要、入札の経緯、落札者の決定等について契約検査室及び担当部局より説明し、審議が行われました。</p> <p>(1) 抽出事案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①河南町立中学校屋内運動場新築工事（契約金額 341,250,000 円） ②税務情報システム等機器（リース契約）（契約金額 61,983,600 円） ③【緊急雇用創出基金事業】河南町 PR スマートフォンアプリケーション開発及び管理システム導入事業（契約金額 16,341,283 円） <p>(2) 主な質問及び意見</p> <p>③の抽出事案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン対応の PR はどのように行うのか。 (回答) 広報紙や PC 版のホームページ等で PR していきます。

- ・どのような状況でこの事業の採択を受けたのか。
(回答) 様々なシステムのバージョンが上がっていくITの現状や、スマートフォンが普及していく中で、これらへの対応が必要と考えていたときに、この緊急雇用のメニューと合致したということです。
- ・新たな雇用に結びつくのか。
(回答) 新規雇用を契約条件としています。必要な人員をハローワーク等で募集する必要があります。また、新規雇用者の賃金が契約金額の50%以上でなければならない事業です。
- ・何人の雇用があったのか。
(回答) 6人です。
- ・新規雇用の確認はどのように行うのか。
(回答) 事業計画書や、最終の賃金台帳で確認します。
- ・受託者が任意に作成できる書類ではなく、社会保険料の支払い状況での確認などが必要と思うが。
(回答) 雇用に関する最終的な報告形態はまだ確認できておりませんので何とも言えませんが、この事業で一定期間の雇用を確保することが失業者対策につながると考えています。
- ・町在住者の優先雇用を求めているのか。
(回答) ハローワークには出来る限りそのようにしてほしいという希望は出しています。
- ・コンテンツの更新は誰が行うのか。
(回答) 日常の更新は職員が行います。今後はスマートフォンのモバイル性を防災面にも活用したいと考えています。

①の抽出事案について

- ・工事はどの程度遅れているのか
(回答) 技術評価で示された工程と比較して約1月の遅れです。原因は型枠工や鉄筋工等の職人不足で、必要人員の確保ができないということですが、工期内には完成できると考えています。
- ・今後、第一体育館はどうするのか
(回答) できれば来年度撤去します。
- ・低入価格の算出方法は
(回答) 国交省の算定モデルによります。
- ・応札のあった5者はどこの業者か
(回答) 大阪市内の業者です。
- ・開札日までを書類配付期間としているのはなぜか。
(回答) 必要書類をホームページから再度ダウンロードされる場合があるので長くとしています。
- ・加算点の差は何か
(回答) 7項目について評価しており、その中で同種工事の施工実績と現場技術

者の経歴にウェイトを置いていましたが、結果的にはそれが反映しきれませんでした。加点の配分や方法に関して今後改善の余地ありと考えています。

- ・落札率の高さはどのように考えるか。

(回答) 近年建築コストの上昇が続いており、積算時点からの物価上昇が原因と思われます。また、契約期間中の物価上昇を見越した見積もりになったのではないかと考えます。

②の抽出事案について

- ・リース物件はメーカー指定か。

(回答) 他メーカーの場合、システム移行に伴うデータ抽出に相当のコストがかかるため、互換性のある現在のシステムと同一メーカーとしました。

- ・入札時にはどのようにメーカーを指定しているのか

(回答) 特記仕様書で機器と移行に伴う作業を、現在のシステムと同一メーカーに限定しています。

- ・なぜメーカーをリース契約入札に指名したのか

(回答) 登録業者の中から、一定の要件に該当する者を全て指名しています。

- ・役所の裁量で指名したのではなく、一定の基準で指名したということか。

(回答) そうです。

(3) 審議の結果

抽出審議した3件の案件について、入札及び契約状況は概ね適正な手続で行われたと認められました。

4. 委員会による意見の具申又は勧告

無し

5. その他

特になし

6. 問い合わせ先

河南町総務部契約検査室 電話番号 0721-93-2500 (内線 360・361)